

外 国 語 学 部

日本語学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33201	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	伴 紀 子	
他の科目との関連	「日本語教育セミナーA2」を履修していること					他学科履修	不可

【講義内容】 各自が選んだ研究課題について発表し、全員で討論する。関連論文の検討は十分に行いつつ、作成中の論文をより充実していく。本科目は日本語教育の分野で卒業論文を執筆する学生を対象とする。故に日本語教育に関する講義を履修していることを条件とする。

【講義計画】 口頭発表及び個人指導によって納得のゆく論文に仕上げていく。

【評価方法】 口頭発表と論文による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33202	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	土田 友章	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 参加者各人の研究課題について発表し、討論し、時には関連論文などをともに研究しながら、それぞれのテーマが自他に、より明確に、より充実してゆくことをめざす。

【講義計画】 参加者各人にその論文梗概をクラスで発表してもらい、討論するほか、個別の指導を通して、納得のゆく論文に仕上げてゆく。

【評価方法】 口頭発表と論文とによる。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33203	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	町田奈々子	
他の科目との関連	前期の「日本語学上級セミナーA1」を履修していること。					他学科履修	不可

【講義内容】 日本語学・言語学の分野で卒業論文を執筆する学生を対象とする。各自が選んだ研究テーマについて定期的に発表を行ない、受講生全員で討論する。関連するトピックについての講義も交え、研究テーマのより深い理解をめざす。

【評価方法】 口頭発表と論文による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33204	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	坂 本 正	
他の科目との関連	「日本語教育セミナー」を履修していること					他学科履修	不可

【講義内容】 各自が選んだ卒業論文の課題について定期的に口頭発表を行い、受講生全員で討議し、卒業論文をまとめていく。

【講義計画】 受講生の人数にもよるが、各自2週に一度の割合でそれまでにまとめたものを口頭発表する。

【評価方法】 卒業論文

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33409	現代日本語の構造（文法）Ⅱ	選必	秋学期	2	2	町田 奈々子	
他の科目との関連	現代日本語の構造（文法）を履修していること。言語研究の基礎Eを履修済みであることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 生成文法の枠組を用いて、日本語の様々な構造、現象を観察、分析する力を培う。必要に応じて他言語の現象も比較観察し、言語の普遍性について考えて行く。Ⅱでは学生が各自課題を解くことも要求される。

【講義計画】 プリント教材に沿って講義を進めていく。

【評価方法】 クラス参加、筆記試験

【テキスト】 プリント教材を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33411	日本語学特殊講義ⅠA （心理言語学Ⅰ）	選必	春学期	2	2～4	杉村 恵子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部英米科開講科目 31625「英語学特殊研究1」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33412	日本語学特殊講義ⅠA （心理言語学Ⅱ）	選必	秋学期	2	2～4	杉村 恵子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部英米科開講科目 31626「英語学特殊研究2」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33418	日本語学特殊講義ⅠA （記号論理学ⅠB）	選必	秋学期	2	2～4	服部 裕幸	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文学部哲学科開講科目 11155「論理学Ⅱ」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33424	日本語学特殊講義 I A	選必	秋学期	2	2~4	阿部 泰明	
他の科目との関連	言語研究の基礎、現代日本語の構造（文法）を履修済のこと。					他学科履修	可

【副題】 テンスとアスペクト

【講義内容】 日本語の時間をめぐる表現を考察しながら、テンスとアスペクトの問題を探る。
日英語の比較なども使って、日本語に特有な時間表現とアスペクト体系の構造を探る。

【講義計画】 (1) 古典的な語彙のアスペクト観
(2) テンスとアスペクトの基本的概念
(3) テンスとアスペクトの対照言語的検討
(4) Event Semanticsを用いた言語分析などのテーマを概観する。

【評価方法】 授業中の宿題、発表および学期末のレポート。

【テキスト】 プリント教材を配る。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33427	日本語学特殊講義 I A (日本語と社会)	選必	秋学期	2	2~4	町田 奈々子	
他の科目との関連	留学生別科の授業との調整の関係上、授業開始は9月13日(木)となる。					他学科履修	可

【講義内容】 留学生別科との共通開講科目である。日本語と社会の関係について、社会言語学アプローチもとりいれながら、日本語の種々の現象を留学生と共に考える。内容的には敬語や授受表現、女性語等、特に留学生が理解に困難を感じる現象に焦点を合わせる。講義、テキストはすべて英語であり、かなりの英文を読みこなす力が要求される。またクラスでは活発な討議も行われる。タームペーパーに向けて留学生と共同のグループプロジェクトが課されるため、出席を重要視する。

【講義計画】 授業で取り上げる項目は以下のものである。

- ・社会言語学概説
- ・日本語の特徴、日本の社会方言
- ・世界の女性語、日本の女性語
- ・差別語
- ・丁寧さの普遍性と日本語
- ・「うち・そと」の概念
- ・敬語
- ・授受表現
- ・人称表現
- ・ノンバーバルコミュニケーション
- ・その他

【評価方法】 出席、クラス討議参加、小テストとタームペーパー及びグループプロジェクトについての口頭発表。

【テキスト】 Cherry, K. (1988) *Womensword. What Japanese words say about women.* New York: Kodansya International.
Suzuki, T. (1978) *Words in Context: A Japanese Perspective on Language and Culture.* Translated by Akira Miura. Tokyo: Kodansya International.
Reading Package *Language and Society in Japan*, prepared by Nanako Machida.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33442	日本語学セミナーA2	選必	春学期	2	3・4	阿部 泰明	
他の科目との関連	言語研究の基礎、現代日本語の構造（文法）を履修済のこと。					他学科履修	可

【副題】 日本語の統語論と意味論の問題Ⅰ

【講義内容】 統語論と意味論の問題を考察する。過去20年間に貴重な理論的貢献をした論文、理論的意義の深い現象を扱っている論文などを選び順次読んで行く。論文はほとんどが英語の論文である。

【講義計画】 講義と学生による発表を組み合わせる。レポートの書き方についても学ぶ。参加学生の興味がある領域の論文を選んでいく。

【評価方法】 学期末レポート

【テキスト】 プリント教材を配付

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33443	日本語学セミナーA3	選必	秋学期	2	3・4	阿部 泰明	
他の科目との関連	言語研究の基礎、現代日本語の構造（文法）を履修済のこと。					他学科履修	可

【副題】 日本語の統語論と意味論の問題Ⅱ

【講義内容】 統語論と意味論の問題を考察する。過去20年間に貴重な理論的貢献をした論文、理論的意義の深い現象を扱っている論文などを選び順次読んで行く。論文はほとんどが英語の論文である。

【講義計画】 講義と学生による発表を組み合わせる。春学期のセミナー「日本語の統語論と意味論の問題Ⅰ」を受講した学生による研究発表も含む。三年次生については、卒論執筆の訓練も行う。

【評価方法】 学期末レポート

【テキスト】 プリント教材を配付

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33461	日本文化史文献講読AI(古代・中世の古文書)	選必	秋学期	2	2	青山 幹哉	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 中世の仮名書き史料

【講義内容】 中世日本において公式の記録や文書は、漢文（または和風漢文）によって書かれるのが常であった。だが、公式な世界を少しでも離れると、そこには仮名書きの史料もまた数多く存在したのである。もともと仮名書きは口頭で述べなければならないとされた神との交信のために使われ、また女性による記録のために用いられた。本講義では、仮名使用者たちの世界を、いくつかの史料を講読することによって探ることにする。

【講義計画】 ①宣命体と万葉仮名
②白状と起請文
③紀伊国阿氏河庄百姓申状
④絵巻物の詞書

- ⑤宮廷女房の日記
- ⑥女房奉書と琉球国王書状

【評価方法】 学期末における筆記試験および授業中の史料講読。

【テキスト】 『字喃かな』（笠間書院）を用意しておくこと。
テキストとする史料は授業時に配布する。
参考文献については、授業の中で適宜紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33462	日本文化史文献講読A I	選必	春学期	2	2	土田 友章	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 明治期文献講読（1）： 兆民と天心

【講義内容】 日本近代の初頭、日本人が西洋近代に直面しなければならなかったときの一つの応答である、中江兆民の『三酔人経綸問答』（岩波文庫）、ならびに岡倉覚三の『東洋の理想』（講談社学術文庫）を、正確に読むことを目標とする。

【評価方法】 クラスでの積極的参加ならびに期末の小論文による。

【テキスト】 教材には、文庫本を用いる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33467	日本文化史文献講読B II	選必	秋学期	2	2~4	櫻井 進	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 近世日本における代表的な作家であり、近代にも深い影響を与えた上田秋成の『雨月物語』を思想的なコンテクストをも視野に入れながら講読する。

【講義計画】

- 1) 「白峯」
- 2) 「浅孝が窟」
- 3) 「吉備津の釜」
- 4) 「蛇性が嬬」
- 5) 「貧福論」

【評価方法】 筆記試験による。あわせて出席をも重視する。

【テキスト】 『雨月物語 痴物語』

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33485	日本文化学セミナーA 1	選必	秋学期	2	3・4	土田 友章	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 日本人の美と心：世阿弥のばあい

【講義内容】 世阿弥の代表的論著である『風姿花傳』を、原文について、正確に理解することを試みる。能芸論ではあ

るが、教育論、人生論でもある、この日本人にとっての古典を、さまざまな角度から読み解くことによって、理解・解釈の方法一般をも学びたい。ときに、『花鏡』ほかの論書も参考にする。

【評価方法】 以下の2点による。[1] クラスへの参加：予習が重要。また、ときに担当の箇所についてクラスで発表する。[2] 期末小論文。

【テキスト】 クラスで指定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33486	日本文学化学セミナーA2	選必	春学期	2	3・4	櫻井 進	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 熊野に関する中上健次の文学テキストを講読し、討議する。

【講義計画】 1) 『枯木灘』
2) 『千年の愉楽』

【評価方法】 レポートによる。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33511 33515	英語ⅡA・ⅡB	選必	春学期 秋学期	各1	3	KLEPINGER Lawrence	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 This class will be handled in the following manner: The teacher and the students will decide together how the class is to be handled in accordance with university rules. We can run the class as a current events class, an open discussion class, a strictly conversation class or a combination of all three. I would like to give the students the opportunity to speak about their ideas and concepts in class and to have the chance to challenge every aspect of English conversation - not just grammar and boring memorization. Education is a two-way street. If you feel like taking an interesting trip, feel free to join the class. All I ask is that you try to do your best and don't waste your time - or mine. Challenge yourself - you might be surprised at what you can accomplish!

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33521 33525	英語ⅢA・ⅢB	選必	春学期 秋学期	各1	4	BINFORD Paul	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 Students will improve English speaking ability through discussions centered on a broad range of topics. Short readings, some writing, and listening will be introduced in order to facilitate the discussions. Students are encouraged to provide input on topics to be covered, as well as to ask provocative questions. The teacher will provide the material for the course, taken from a variety of resource books including current news articles, discussion textbooks, short works of fiction, songs.

【評価方法】 Grades will be based on active participation, attendance and a written assignment at the end of each course on one of the topics covered during the semester.

【その他】 There will be no textbook assigned. The instructor will provide the materials for the class.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33644	日本語教育特殊講義A	選	秋学期	2	2~4	尾崎 明人
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24836「日本語の会話教育」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33645	日本語教育特殊講義A	選	春学期	2	2~4	鹿島 央
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24841「日本語の音声教育」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33662	日本語学特殊講義ⅡA	選	集中	2	2~4	大名 力
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24781「コンピュータと言語学」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33663	日本語学特殊講義ⅡA	選	秋学期	2	2~4	町田 健
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24761「言語分析B」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33667	日本文化特殊講義ⅡA（漢文学講読Ⅰ）	選	春学期	2	2~4	西岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 漢文学講読

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24726「漢文学研究Ⅰ」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33668	日本文化特殊講義ⅡA（漢文学講読Ⅱ）	選	秋学期	2	2～4	西岡 淳
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 漢文学講読・続

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24731「漢文学研究Ⅱ」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33669	日本文化特殊講義ⅡA（宗教人類学）	選	春学期	2	2～4	KNECHT Peter
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22421「宗教人類学」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33676	日本文化特殊講義ⅡA	選	秋学期	2	2～4	横山 輝雄
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 文学部英語学英文学科開講科目 14686「比較文化特殊講義AⅡ 2」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33677 33678	日本文化特殊講義ⅡA	選	春学期 秋学期	各2	2～4	櫻井 進
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 <半島のなるもの>が資本主義をつくった、そのプロセスを熊野からイタリア半島へ、折口信夫からベニヤミン、フーコーへと、近代の運命を<半島>の視点からたどる。

【講義計画】
 1) <半島>の精神誌
 2) 巡礼から資本主義へ
 3) 逸脱する身体あるいはファシズムへの誘惑

【評価方法】 筆記試験による。あわせて出席をも重視する。

【テキスト】 『<半島>の精神誌』

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33679	日本文化特殊講義ⅡA	選	春学期	2	2～4	高橋 公明	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【講義内容】 人文学部共通科目20441「人文学基礎論（日本文化学入門）」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33680	日本文化特殊講義ⅡA	選	秋学期	2	2～4	高橋 公明	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【副題】 13～17世紀の東アジアの国際関係

【講義内容】 日本列島内の閉じた空間の出来事として日本史を考えるのではなく、その周辺地域との関わりを重視する。東アジアという地域的な広がりの中で、中世の日本をどのように位置づけようのか考える。とくに海を舞台にした交通関係に焦点を合わせ、中心一周縁的な見方の相対化を計る。

【講義計画】 (1) 外国人の見た中世日本：性風俗・女性・奴隷・暴力
 (2) 中世文学のなかの外国と境界：唐人・博多・明州・蝦夷・鬼界が島
 (3) 島のイメージ：楽園・排他性・人食い島
 (4) 海のなかの特異点：琉球・対馬島・済州島・海浪島
 (5) 港町：博多・那覇・寧波・三浦

【評価方法】 (1) 比較的短い宿題（A4で1枚程度） 3回 60%
 (2) 学期末報告（A4で3枚程度） 40%

【テキスト】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33682	日本文化特殊講義ⅡA （日本美術史特講Ⅱ）	選	秋学期	2	2～4	池田 洋子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 池大雅作品研究

【講義内容】 日本文人画の大成者の一人である池大雅は若年より天才の誉れが高かった。多くの人々から親しまれた人柄でもあり、さまざまな人との出会いから絵画の世界を広げた。彼の作品を年代を追いかけてその特質を考察する。

【講義計画】 1、池大雅の概観
 2、20代前半の作品
 3、20代後半の作品
 4、30代前半の作品
 5、30代後半の作品
 6、40代前半の作品
 7、40代後半の作品
 8、50代作品
 9、まとめ

【評価方法】 講義時間内の担当個所の発表・質疑応答・レポート等を総合的に評価する。

【テキスト】 新潮日本美術文庫11『池大雅』武田光一著 新潮社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33683	日本文化特殊講義ⅡA (日本美術史特講Ⅲ)	選	春学期	2	2~4	四辻 秀紀	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24656「日本美術史B」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33693	日本語教育セミナーA3	選	秋学期	2	3・4	加藤 俊一	
他の科目との関連	「日本語教育入門」「日本語教育文法」「日本語教授法」を既に履修していることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 「日本語教育」・「日本語学」・「月刊言語」及び各大学の紀要などから日本語教育に関する論文を選び、内容を検討していく。各自が卒業論文の研究題目と関わりのある論文や研究発表を積極的に探し、論文作成の準備を始めることをすすめる。

【講義計画】 はじめは配布プリントの内容を口頭発表してもらいが、各自の研究題目に沿った論文の内容討論になるべく早く移行する。

【評価方法】 口頭発表およびレポート

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33694	日本語教育セミナーA4	選	春学期	2	3・4	坂本 正	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 初級日本語教授法について書かれた英文プリントを読み、実際に使用された教案、教材に触れ、実際の日本語教育法を身に付ける。

【講義計画】 毎週10ページほど読み、担当学生は要旨をクラスで発表し、その内容についてみんなで議論し、よりよい日本語教育法を模索する。

【評価方法】 積極的な授業参加とレポート

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33701 33705	日本語教育実施研究Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	4	伴 紀子	
他の科目との関連	日本語教育実施研究Ⅱの履修にはⅠの履修が前提とされる					他学科履修	不可

【講義内容】 日本語教育実地研究Ⅰでは、基礎日本語教育文法を検討した上で、教場での教具の使い方及び教え方を実習し、実践的な日本語教授法を会得する。実地研究として別科留学生の個別指導を行う。

日本語教育実地研究Ⅱでは、日本語教授見学や会話パートナーを通して、学習者の日本語能力を理解し

た後、教壇実習へと移る。

この科目を履修する学生は、「日本語教授法」「日本語教育文法」を履修していることが望ましい。

- 【講義計画】
- 日本語教育実地研究Ⅰ
1. 基礎日本語文法の検討
 2. 教室での指導法の検討
 3. 教具の使用法の検討
 4. 模擬授業と授業見学
 5. 別科留学生個別指導
- 日本語教育実地研究Ⅱ
1. 日本語教授見学
 2. 別科留学生のための個別練習指導
 3. 教案作成
 4. 教壇実習
 5. 評価

【評価方法】 教案作成、模擬授業及び実習などの総合評価。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33711	日本語学上級セミナーA1	選	春学期	2	4	町田奈々子	
他の科目との関連	「日本語学セミナー、日本語学特殊講義」などを既に履修していること。					他学科履修	可

【講義内容】 日本語学・言語学の主要文献を検討しつつ、日本語文法の全体像を考える。扱う論文は、文献リストの中から参加者が選ぶ形で決定する。

【講義計画】 発表及び討論

【評価方法】 発表とレポート

【テキスト】 後日指定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33721	日本文化学上級セミナーA1	選	春学期	2	4	土田友章	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 文学に見る明治20年代－北村透谷と樋口一葉－

【講義内容】 透谷と一葉の作品のいくつかを精読する一方、同時代の社会・思想の状況を概観して、日本近代と人間とを考える一つの手がかりとしたい。また、いくつかの作品論を読んで、テキストと作品論とのあいだを考える。

【講義計画】 関連資料と時代の概観を適宜紹介する。参加者各人の、透谷・一葉の作品についての分担・報告が求められる。

【評価方法】 次の3点による。1) 透谷・一葉の作品、関連著作などについての分担・報告、2) 積極的参加、3) 期末小論文。

【テキスト】 複写資料。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
33722	日本文化学上級セミナーA2	選	春学期	2	4	櫻 井 進
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 日本の最も有名な聖地である熊野に関する諸論文や前近代の文献を講読し、討議する。

【講義計画】 1) 熊野関係論文の講読及び討議。
2) 「ごすいでん」の講読。

【評価方法】 レポートによる。

【テキスト】 適宜指示する。

外 国 語 学 部
共通基礎科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34005	言語研究の基礎E	選必	春学期	2	2	斎藤 衛	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部共通科目 20426「人文学基礎論（言語学入門）」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34102	外国語教育の基礎B	選必	秋学期	2	2	加藤 俊一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語教育には理論と実践の二面がある。どんなに優れた理論であっても、実際の教育現場でそのまま応用できることは皆無に近く、現場の教師は妥協と修正を余儀なくされるのが常である。いろいろな外国語教育論を検討しながら、その理論を現場で応用するにはどのような問題があるか、またその問題を解決するにはどうしたらよいかを考える。

【講義計画】

1. 1970年代以前の三つの「伝統的教授法」（文法・翻訳法、ダイレクト・メソッド、オーディオリンガル・メソッド）
2. オーディオリンガル・メソッドを批判して生まれた二つの教授法
3. ダイレクト・メソッドの現代化したもの（トータル・フィジカル・レスポンスとナチュラル・アプローチ）
4. ヒューマニスティック・アプローチ（CLL、サイレント・ウェイ、サジェストペディア）
5. 21世紀の外国語学習基準

【評価方法】 平常点（20%）、クイズ（30%）、期末試験（50%）

【テキスト】 プリント（英語で書かれたもの）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34153	コミュニケーション研究の基礎C	選必	秋学期	2	2	横山 輝雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22621「言語と知識（コミュニケーションと言語）」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34701 34705	中級英語会話 I・II	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	DYCUS David	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 The main objective of this course will be to help learners consolidate their knowledge of English while learning new words, expressions, and structures. This will be done by studying and discussing topics, which provide a framework for language practice and development. There will also be a focus on phrasal verbs.

【講義計画】 Discussion topics will be drawn largely from the textbook and occasionally from newspaper articles and

current news, Grammar, vocabulary, and expressions will be studied as they relate to topics under discussion.

【評価方法】 Final grades will be based on ①attendance and participation and ②a final, end-of-semester written test.

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34711	中級英語作文Ⅰ	その他	春学期	1	3・4	堀部 憲夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 英作文の最終的な目標は自由英作文であると思いますが、そこに至るにはステップをふまなければなりません。まず英語の構造や語法を知らなければなりません。その上に、パラグラフが書けて自己表現ができるようになければなりません。そのためには、良く書けているモデルパラグラフを読み、暗誦し、実際に自分で書いてみるべきです。したがって、モデルパラグラフの語法、表現に関するドリルを行い、次にモデルパラグラフの構成、内容の理解をとうして、最終的に自己表現の養成をめざします。

【講義計画】

- I. About Self
 1. Personal Introduction
 2. Family Description
 3. Home Town
 4. Hobbies
- II. About School
 1. Cancelled Classes
 2. Club Activities
 3. Exam
 4. Teacher Description
- III. Book Reviews and Descriptions
 1. Book summary
 2. Book Analysis
 3. Place Description
 4. Situation Description

【評価方法】 授業参加、レポート、テストの成績により評価する。

【テキスト】 A New Way to English Writing
(斉藤宏他著、成美堂)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34715	中級英語作文Ⅱ	その他	秋学期	1	3・4	堀部 憲夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 英作文の最終的な目標は自由英作文であると思いますが、そこに至るにはステップをふまなければなりません。まず英語の構造や語法を知らなければなりません。その上に、パラグラフが書けて自己表現ができるようになければなりません。そのためには、良く書けているモデルパラグラフを読み、暗誦し、実際に自分で書いてみるべきです。したがって、モデルパラグラフの語法、表現に関するドリルを行い、次にモデルパラグラフの構成、内容の理解をとうして、最終的に自己表現の養成をめざします。

【講義計画】

- I. Diaries
 1. "One of those Days"
 2. A Holiday
 3. An Excursion
 4. An Illness
- II. Letters

1. Friendly Invitation
2. Declining a Friendly Invitation
3. Friendly Thank-you
4. Job Inquiry

【評価方法】 授業参加、レポート、テストの成績により評価する。

【テキスト】 A New Way to English Writing
(斉藤宏他著、成美堂)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34721 34725	上級英語会話Ⅰ・Ⅱ	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	KINDT Duane
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 The main objective of Advanced English Conversation is to further develop students' skills in becoming active English speakers by recording and analyzing topic-based conversations. To achieve this objective, students will be asked to communicate freely in English with all members of the class and periodically record their conversations. Because this class is topic-based, the teacher may introduce related vocabulary and useful expressions, but students will be responsible for gathering the English they think will be necessary to say what they want to say. Students will also be asked to keep a class notebook for writing new words, expressions, and notes, and for keeping class prints. Topics will change weekly.

【講義計画】 Examples of former students' conversation cards and transcriptions of recorded conversations will be used to introduce particular topics of interest. After learning some vocabulary, useful expressions, or conversation strategies related to a topic, students will then make conversation cards of their own to talk about in class. Three times a semester, students will record and transcribe their conversations.
Sample topics: Music lyrics, world travel, top 5 movies, future dreams, sports & recreation
Sample activities: Listening to music and watching videos, recording and analyzing conversations, comparing conversations with recording partners, making and talking with conversation cards, listening to example conversations from other students

【評価方法】 Students will be evaluated on the following: 1) conversation cards, 2) recorded conversations and analyses, 3) effort and attitude in class, and 4) attendance and punctuality (students missing more than 3 classes will not receive credit).

【テキスト】 "Don't forget your SOCCs!" by Duane Kindt, available from the instructor.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34731 } 34737 ・ 34741 } 34747	上級英語作文Ⅰ・Ⅱ	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	WRIGHT Mark 他
他の科目との関連	英米学科開講の41201～41217「Writing in EnglishⅢ、Ⅳ」で充当。					他学科履修可